



(一社) 沖縄県労働基準協会  
八重山支部

支部長 **宮良 博文**

あけましておめでとうございます。会員事業場におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は支部運営につきまして、八重山労働基準監督署をはじめ、関係行政機関、関係団体、会員事業場の皆様にご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。事業場において日頃より、安全衛生、健康、快適な職場環境づくりに熱心に取り組んでおられる皆様のご努力とご苦勞に心から敬意を表し、当支部では、八重山地区安全大会、八重山地区労働衛生大会、八重山労働基準監督署と合同衛生パトロール、緑地公園クリーンアップ、支部安全衛生部会研修会を行う等、情報交換、意見交換を活発に行ってきました。

さて、コロナ禍からの復興・経済の回復を進め、成長する新しい経済社会が実現します。そのためには実現の基盤となる勤労者の安全と健康確保が極めて重要な課題であると認識します。労働災害は長期的には減少していますが、誠に残念ながら今なお多くの方々被災しています。特に近年は勤労者の超高齢化、急速な世代交代の



八重山支部職員

進行、深刻な人手不足やサービス産業の進展等、就業構造が変化する中、労働災害が増加傾向にあり、なお一層勤労者が安全でかつ快適に働くことができる職場づくりに取り組んでいかなければならないと考えています。

勤労者の安全と健康の確保を推進するためには、企業の経営者をはじめ広く関係各位のご理解とご協力が不可欠であり、従来に増したご尽力をお願いいたします。安心して働ける快適職場づくりを実現していただき、皆様方のご安全とご健康を心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



八重山労働基準監督署

署長 **渋谷 雄太**

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、会員の皆さまにおかれましては労働基準行政の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が5月8日をもって2類感染症から5類に移行し、感染対策につきましては個人や事業者の判断が基本となり、管内の観光関連の産業が再び活性化した年であったかと思われ、石垣市入域観光客推計表によれば入域観光客数と消費推計額がコロナ前の数字に戻りつつあるようです。そのようななか、八重山署管内の休業4日以上新型コロナウイルス感染症によるものを除いた死傷災害をみますと、昨年10月末現在で第3次産業における死傷災害が一昨年前と比較して増加しており、なかでも接客娯楽業の死傷災害は倍増しています。この他、陸上貨物運送事業や、農林業、畜産・水産業における死傷災害も増加している状況にあります。



八重山労働基準監督署職員

死傷災害を防止するためには、労働安全衛生関係法令を遵守することはもとより、事業者自らがリスクアセスメント等を通じて災害防止対策を講じることが必要です。また、近年は、足場や荷役作業、化学物質、溶接ヒューム、石綿など法改正が多く、当署ではこれらの周知を図るため説明会を開催するなどあらゆる機会を捉えて周知活動を行ってまいりましたが、今後も積極的に取り組みたいと思います。

皆さまにとりまして、最良の年でありますよう心からご祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。